

いのち ほんの 生命の炎

●発行所：東京ふれあい医療生活協同組合
〒114-0004 東京都北区堀船 3-31-15
電話 (03) 3911-3630

●編集人：「生命の炎」編集委員会

生協の現況(2016年11月末日現在)
組合員数=16,587名 出資金総額=553,349千円

<http://www.fureaico-op.com>



東京ふれあい医療生協 2016年 2017年
合併号 No.454

認知症テーマに取り組み報告し合う

生協強化月間締めくくるパワーアップ集会



鶏 / 伊藤若冲

2016年度の生協強化月間を締めくくるパワーアップ集会が、昨年11月26日に開かれました。今回のテーマは「認知症をめぐる当生協の取り組み」。梶原診療所外来・病棟、宮の前診療所、オレンジほっとクリニックでの認知症の治療やリハビリなどの現状が報告されました。

加えて、昨年誕生した飛鳥山支部の「脳いきいき班会」、栄町支部の「さかえふれあいサロ」の取り組みが紹介されました。梶原など当生協の診療施設では、「認知症になっても、住み続けられるまち」を目標に、認知症早期発見のシステムづくりや、医師や看護師を含む様々な専門職員がチーム



▼オレンジほっとクリニック利用者・スタッフのコラース

を作った診療を担当していることが報告されました。支部の取り組みでは、脳いきいき体操を実演する参加者の真剣な姿が印象的でした。なお、この集会には北区の上中里高齢者安心センター（高齢者地域包括支援センター）職員も参加し、当生協と協同して認知症対策を担当していることが報告されました。



▼パワーアップ集会
(梶原診療所の取り組みを発表)



▼パワーアップ集会
(栄町支部の脳いきいき体操)

新年の理事長挨拶



理事長 ひじや さとし
土屋 悟史

教育と教養を大切にして

組合員の皆さま、明けましておめでとうございます。健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は当生協にとって「みらい五カ年計画」の四年目の年であり、第52回通常総代会で東京ふれあい医療生協の新理念が決定された年でもありました。「あなたが主役でいられるまち、ふれあいのわが未来をつくる」を基本理念とし、3つのふれあい credo (信条) として①ふれあいの健康づくり、②ふれあいのまちづくり、③ふれあいの組織づくりを確認しました。生協の組織活動、各事業所の医療・健診・福祉活動の中で、常に理念を意識しながら取り組みを進めていくことが求められています。この理念がしっかりと根を張ったものとするためには、「いのちの章典」と合わせて、組合員一人ひとりの行動指針とすることが大切です。そのため今後、活動交流集会などで、学習の場を設定していきたいと考えています。

少子・超高齢社会のなか、創立45年を経て、生協組織基盤の確立・強化が極めて大きな課題となっています。昨年4月、滝野川・西ヶ原地域に12番目の支部が誕生しました。1支部10の新しい地域班づくりをめざしています。身近に生協の活動がみえる組織づくりと、ひとつづりを進めていきます。

「キョウイク」「キョウヨウ」が必要です。民主主義の確立には、教育と教養が欠かせません。第2の人生には「今日行くところ」と「今日の用事」が欠かせません。医療生協はその受け皿になると確信しています。今年も一年よろしく願ひします。



子ども食堂はみんなの居場所

座談会＝進む貧困・格差解消へ生協の可能性を探る

つながりと心の豊かさ求めて
中村成一さん（購買生協ブロック委員・当生協組員）

子どもの貧困対策で歩み始めた文京区

■**司会**（坂爪）＝「なぜ今、子ども食堂なのか？」をテーマにして、子ども達を取り巻く今日的な状況や、保護者が置かれている状況を明らかにしながら、当生協で「子ども食堂」を具体化するには、どのように進めていったらよいのか、本日は率直に意見交換が出来ればと思います。

「子ども食堂」について、最近はメディアなどで取り上げられることが増えています。その背景には「子どもの貧困問題」が横たわっていると言われています。2012年の厚労省発表の数字でも、日本の子どもの貧困率は、先進国の中でも高く、OECD加盟34ヵ国中10番目となっています。中でもひとり親家庭の場合はワースト1位という数字が出ています。国も関係法を整備して、ようやくこの問題に向き合い始めていますが、文京区ですでに「子ども食堂」を実際に取り組んでいらっしゃる中村さんから、最初に「子ども食堂とは何か」についてお話し頂けますか…。

■**中村**＝文京区では現区長が「子育てしやすい区にしよう」と発案し、区の施策として様々な取り組みを行っています。しかし、行政にばかり頼ってはいけないうことで、民間のボランティアが集まって、いろいろなイベントや子育てサロンなどもやっています。

■**司会**＝立ち上げのきっかけは何かでしたか？

■**中村**＝文京区には絵本の出版社が多く、これを子育てや地域起こしの起爆剤にしようという意識が以前からありました。立ち上げの中心で関わられたのが、ご自身も子育て中の不動産屋さんです。物件を扱う中で、子育て世帯が入居しにくい状況のあることに触発され、お店の一部をキッズスペースに開放し、そこを拠点に活動が始まりました。

■**司会**＝具体的にはどのような取り組みがありますか？

■**中村**＝一つは「千石じゅり」という子育てサロン。文京区社会福祉協議会のサロン活動で、月1回、コープみらいのブロック委員が関わり、子どもの相手をして遊んであげる、そしてコープみらいがおやつを提供しています。二つ目は、子ども食堂「おたがいさま食堂せんごく」です。

■**司会**＝「食堂せんごく」について具体的にお話し下さい。

■**中村**＝第2・4金曜日は定期で、第1・3・5金曜日は不定期です。午後6～8時まで。場所は文京区の施設を利用しています。キッチンがありますので、みんなで食事を作り、一緒に食べるという内容です。年

30回程度開催しています。大人が300円、子ども100円をいただいているが、赤字になることが非常に多いです。

■**司会**＝どんな方が利用されていますか？

■**中村**＝毎回、大人・子ども合わせて15～16名が参加しています。地域のつながりがほしいという方も来ています。子どもは小学生と中学生、高校生も来ます。大学生も来ます。独身の弁護士さんもあります。やはり一人で食べるのは寂しいのですね。

■**司会**＝メニューにはどのようなものがありますか？

■**中村**＝最初はうどんから始まりましたが、スパゲティあり、ピザあり、たこ焼きありで様々です。「同じ釜のめしを食う」という言葉があるように、食べるという行為は非常にリラックス出来ますね。いろんなことを話してくれる。そうするとママたちも来ているので、子育ての大変さというのも話してくれます。それを聞いてもらえるだけでいいというわけですよ。「子ども食堂」に特化せず、地域全体で様々なことをやりながら、心の豊かさを求めていると私は感じています。

組員と職員共同で子どもに注ぐ目
倉信 均さん（小児科医）

子どものための当生協の取り組み

■**司会**＝当生協でも以前、子どもを対象にした「夏休み手づくりうどん教室」を開催していたと聞いていますが、現在はどのような取り組みをしていますか？

■**倉信**＝梶原診療所の小児科待合室は広く取ってあります。おもちゃや毎月の推薦図書を置いています。そこは子どもやお母さん達が集まる交流の場になっています。また、30年以上の歴史がある「子育て教室」は、卒業したお母さん達も含め、子どもさんやお母さん達との交流を続けています。一昨年から「メディカル・キッズ」を始めました。これは夏休みに小学校低学年児を対象に30人前後集め、親御さんといっしょに梶原診療所の見学や血圧測定などの体験をしてもらっています。そこで子どもやお母さん達との人間関係ができるんですよ。北区でも社会福祉協議会で「子

もの貧困・孤立防止対策ネットワーク」をつくっていて、すでに赤羽地区では子ども食堂の取り組みも始まっています。実は「始めませんか」といわれましたが、医者だけでは無理です。子育て教室を卒業したお母さん達が中心になって子ども食堂を立ち上げ、そこに私たちが関わっていけば、比較的スムーズにいくのではないかと考えています。

■**司会**＝ミカナさんは北区区内にお住まいですが、北区など行政に対する要望については、いかがでしょうか？

■**ミカナ**＝職場の先輩から教わったのが「子どもに、ホットプレートの使い方を教えておくといいいよ」ということ。「親がいなくても自分たちで焼きそばとか、簡単なものを作れるようになるよ」といわれました。親の作る食事を待っているのではなく、子どもだけでちょっと作ったりとかできるような、アイデアメニューなどを教えてもらえるような場があればと思っています。

■**中村**＝保育園や幼稚園などの他に、「子ども会」の様な組織は北区内にありますか。昔だったら青年団とか、僕ら子どもの時は「子ども会」がありました。

■**司会**＝僕の小さい時にはありましたね。

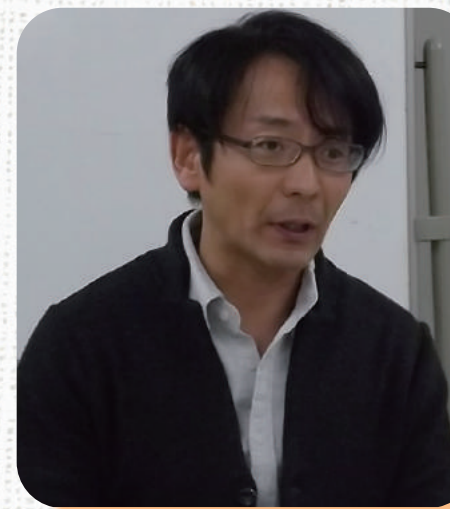
■**ミカナ**＝北区では町会・自治会ごとに青少年委員会がありますが、親がアンテナをたくさん張って、いろんな情報を自分から得ようとしないと、保育園・幼稚園・学校のつながりだけで、広く地域社会との関係は育っていかないと思います。

子どもやお母さん達の厳しい暮らしの現状

■**司会**＝日常診療を通じて子どもや親御さんを巡る状況は、この地域にどう映っているのかということ、倉信先生が日頃対応されていることも含め、お話し下さいませんか…。

■**倉信**＝毎日、70人前後の患者さんを診ていますが、そのうち3割から4割程度が子どもです。限られた診察時間の中で、子どもが置かれている状況を掴むということは難しいのですが、その中でも「気になるような子どもたち」を紹介します。

一人目は、先日健診に来た1歳半の幼児。母親は離婚してその子を抱えながら昼はパート、夜も働いてい



■**司会・坂爪 成明** 介護支援専門員



■**中村 成一** 購買生協ブロック委員
当生協組員



■**倉信 均** 小児科医



■**ミカナ かおる** 介護福祉士

る状況です。「娘は毎晩疲れて帰るので、子どもをみる余裕はありません。全面的に私が一人でみています」とはおぼあちゃん。母親はまったく子どもを見ることも話すこともなく、放置しています。

二人目は、ADHD(注意欠陥多動性障害)の小学校低学年の子です。学校の臨床心理士や、私の知っている専門医に相談に行くようにと母親に勧めますが、「毎日パートに追われ、そんな時間はありません。子どもは元気だし放っておきます」と言われます。

「二人ともどうかしないか」とは思いますが、医師や看護師とか医療従事者だけでは解決できない、非常に多くの問題を含んでいると思います。それともうひとつは、診療所の職員全体で「ちょっとこの子は気になるな」と思った場合には、スタッフが集まり生活や家族の状況を詳しく把握したうえ、いろいろな意見を交換し、その子どもに対して何が出来るかということを考えていくべきだと思っています。

「おたがいさま食堂」の様な取り組みを、生協としても出来ないかと考えています。

■**司会**＝倉信先生のお話しの中でも、シングルマザーの厳しい暮らしぶりが紹介されましたが、同じような年代で3人のお子さんを育てているミカナさんは、働くお母さんの本音と現実。こうした問題をどのように捉えていますか？

■**ミカナ**＝私もフルタイムで働いていて、必死で生活をしているというのが現状です。欲を言えばフルタイムでなく、働く時間を短くして、子どもに向き合う時間をもっとほしいというのが本音ですね。親の経済状況が子どもの教育格差に反映すると言うことをひしひしと感じています。保育園の時から2つ3つ習い事に通わせている親もいますし、成長していく過程で格差につながるのではと肌で感じています。お金をかけないで、様々な経験をさせてあげたいなどがんばっていますか…。

多くの母親と共に子育て情報を共有
ミカナかおるさん（介護福祉士）

つながるための情報発信は？

■**司会**＝倉信先生から、子育て教室の卒業生のお母さん達と、今も連絡を取り合い様々なイベントへの参加を呼びかけていると話されました。こうした場合の情報発信や交換の主な手段はなんですか…？

■**中村**＝私たちはSNSが多いですね。そこに「参加します、参加しません」とか、送信すると答えが返ってきます。大体、人数が読めるわけですよ、今日は何人ぐらいとか。ママ友同士もそうですね。LINEですか、やっぱり。

■**ミカナ**＝そうですね、LINEが多いですね。家の中で時間があるときは、チラシなどの紙媒体も有効ですが、スマホですどこにいても、電車に乗っている時でも見られるので便利です。

■**中村**＝ふれあい医療生協でも、アプリをつくってみては。フェイスブックも、かなり有効ですよ。

■**司会**＝倉信先生の具体的な情報発信の手段は？

■**倉信**＝LINEです。子育てのお母さん達がみんな登録していて、連絡する必要があるときは、それを使っています。

私たちに求められる課題、出来ること

■**司会**＝そろそろまとめに入りたいのですが、当生協や私たち一人ひとりに求められていること、加えて、親御さんも含め、子どもの貧困について私達が出来ることについてお話し下さい。

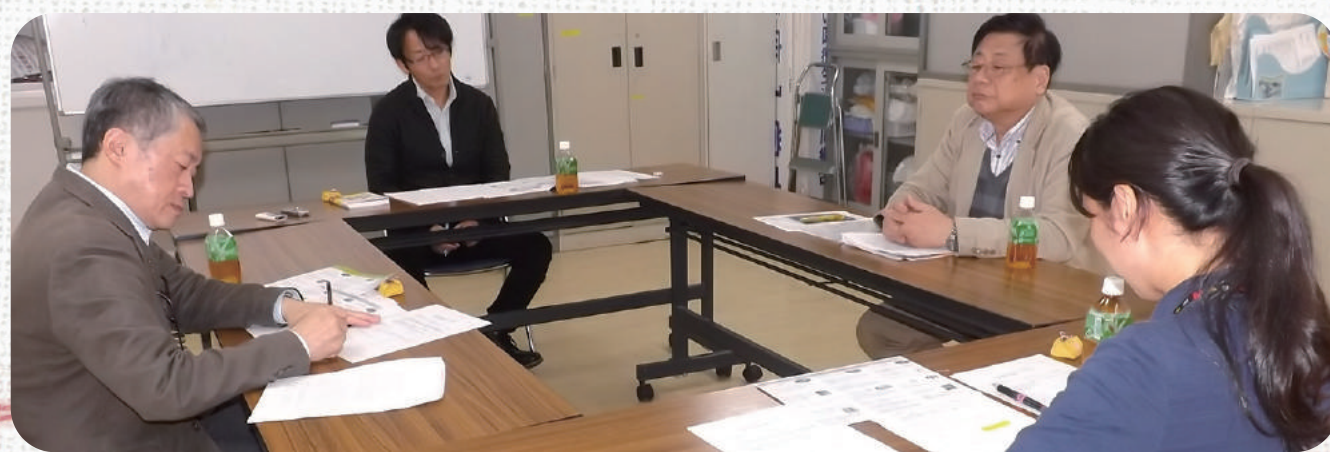
■**中村**＝一般的にいわれている「子ども食堂」ですが、ご飯を食べられない子に食事を提供するのでも大切な

思いますが、やはりそのことを通じて得られる心の豊かさを追求するということを活動の基本にしていきたいと思っています。また、様々な情報を自分から得ようとする親の意識が大切ですね。受け身ではなく、地域の様々な場に積極的に参加し、格差の連鎖を打ち破っていくという意識が求められています。生協が提案するものと親の思いが合致すれば、格差や子どもの貧困を打ち破る芽が出てくるのでは私は思っています。さらに「人がつながる地域の居場所づくり」、これが非常に大切だと思います。縦社会じゃなくて地域の横のつながりの居場所づくりを、たまり場のようなものをつくっていくことが必要と思っています。

■**倉信**＝大切なことはみんなが元気で「生まれてよかった」と思えること、健康で元気に育っていくことの出来る環境を、どうやってつくっていくかということだと思います。小児科医とか医療従事者がということではなく、地域の生協、あるいは地域の人がどういう形でそれをつくっていくかということが大きな課題で、子ども食堂もそのひとつの方法だと思うし、どのような形で具体化していくかが問われていると思っています。

■**ミカナ**＝私自身ができることは、一人でも多くのお母さん達に、子育てに関するいい情報があれば発信していくということ。また、子育ても含めお母さん同士が助け合っていければと思います。周りの子も自分の子と同じように接することができるになれば、と思っています。

■**司会**＝本日は、子どもや親御さん達を取り巻く厳しい実情を知る機会になりました。こうした問題について関心をもつ、意識をもつ、できることは手を差し伸べるということ、私自身、これからは心がけていきたいと感じました。本日は大変お忙しい中、お時間を割いていただきましてありがとうございました。





2017年新春の集い 日程一覧表

支部・組織名	開催日時	会場	会費
西尾久1・2・3丁目支部	1月28日(土) 13時	尾久ふれあい館	1,000円
西尾久4・5・6丁目支部	1月25日(水) 13時	尾久ふれあい館	1,000円
東尾久支部	2月1日(水) 13時	シルバー人材センター	500円
小台宮城支部	1月28日(土) 11時	江南区民事務所	500円
西尾久7・8丁目丁目支部	1月28日(土) 12時	ふれあいセンター	500円
上中里支部	1月11日(水) 12時	ふれあいセンター	1,000円
堀船1丁目支部	1月21日(土) 12時	堀船1丁目町会会館	500円
堀船2丁目支部	1月20日(金) 18時	ふれあいセンター	500円
梶原支部	2月4日(土) 14時	堀船3丁目町会会館	500円
堀船4丁目支部	1月28日(土) 12時	堀船4丁目団地集会所	500円
栄町支部	1月27日(金) 12時30分	ふれあいセンター	500円
飛鳥山支部	1月21日(土) 12時	滝野川東ふれあい館	500円
堀船集合住宅地区	2月3日(金) 13時	堀船ふれあい館	500円

年末年始の診療体制のご案内

●梶原診療所

☎03-3911-5171

年内：12月29日(木) 午前診療で終了

年始：1月4日(水) 午前9時30分から

●宮の前診療所

☎03-3800-7111

年内：12月29日(木) 午前診療で終了

年始：1月4日(水) 午前10時から

●ふれあいファミリークリニック

☎03-6908-4330

年内：12月28日(水) 午後診療で終了

年始：1月4日(水) 午後2時から

●オレンジほっとクリニック

☎03-3911-2661

年内：12月29日(木) 午前診療で終了

年始：1月4日(水) 午前9時30分から



■北区休日診療■

場所：北区医師会館2階(北区王子2-16-11)

☎5390-3011

診療日：12月29日(木)～1月3日(火)

受付時間：午前10時～午後9時30分

■荒川区休日診療■

荒川区報をご覧ください。

■足立区休日診療■

場所：江北休日応急診療所

(足立区西新井本町2-30-40)

☎3896-4010

診療日：12月29日(火)～1月3日(日)

受付時間：午前10時～11時30分

午後1時～3時30分



■テレホンサービス【24時間電話相談】

東京都医療機関案内サービスひまわり ☎5272-0303

東京都消防庁テレホンサービス ☎3212-2323

健康づくり委員会掲示板

<地域共通>

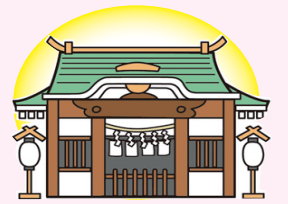
●初参りお知らせ

日時：2017年1月23日(月)

集合：10時 ふれあいセンター前

行き先：湯島天神・神田明神

※雨天の場合特に連絡はしません



●味噌造り

日時：2017年2月10日(金)

場所：14時 ふれあいセンター

手作り味噌・仕込み済み味噌共に2500円

申し込み 1月25日(水)まで

生協本部 3911-2005 鈴木)



<宮の前地域>

●「ふれあい粋、生き(いきいき)サロン

「あっぷる会」健康チェック

日時：1月12日(木) 午後1時30分から2時30分

場所：あっぷる館(小台通り)

※12月はお休みです



●西尾久東長寿会 健康チェック

日時：2月18日(土) 午後1時から2時

場所：西尾久東町会会館

※12月・1月はお休みです



理事会から

2016年度第5回理事会
開催日10月6日

(報告事項)

- ①9月加入43名増資2,703千円
②9月診療所開業9月17日
③9月診療所外来96%・在宅数昨年比102%
④訪問系延数120%
⑤8月決算・経常剰余893万円の赤字
⑥医療福祉力レンダ15第1回監事会
⑦医福連研修会

(協議事項)

- ①8月度の経営状況について
②生協管理運営状況等調査
③介護保険制度見直しに関する陳情署名運動
④パソコン購入入替

■歩こう会(みやまえウォークス)

●日時：1月8日(日)

行き先：浅草七福神巡り

都電三ノ輪橋駅(終点)9時集合



●日時：2月12日(日)

行き先：錦糸町 JR日暮里駅(イベント広場)

9時集合

■コープなかま・荒川コープカフェ

●日時：1月10日(火)

午後1時30分～3時

場所：尾久ふれあい館

5階 調理実習室

テーマ：「笑いケア体操」

参加費：100円



宮の前 瓦版